

Certification Exam Guide

SALESFORCE 認定 PLATFORM デベロッパー

Spring '21

SALESFORCE 認定 PLATFORM デベロッパー

目次

Salesforce 認定	E Platform デベロッパープログラムについて	1
セクション 1.	受験ガイドの目的	2
セクション 2.	対象者について: Salesforce 認定 Platform デベロッパー	3
セクション 3.	試験について	4
セクション 4.	推奨トレーニングと参考資料	5
セクション 5.	試験範囲	6
セクション 6	認定資格の更新	8

SALESFORCE 認定 PLATFORM デベロッパープログラムについて

Salesforce 認定 Platform デベロッパー資格は、Lightning プラットフォームでのカスタムア プリケーション作成に関する知識、スキル、経験を持つ個人を対象としています。

この資格は、Apex、Visualforce、基本的な Lightning コンポーネントを使用して Salesforce を拡張するカスタムビジネスロジックおよびインターフェースを開発するための Lightning プラットフォームの基本的なプログラミング機能を網羅しています。受験者がこの資格を取得するには、Salesforce 認定 Platform デベロッパー試験に合格する必要があります。この資格は、Salesforce 認定 Platform 上級デベロッパー多肢選択試験の前提条件でもあります。

セクション 1. 受験ガイドの目的

この受験ガイドは、Salesforce 認定 Platform デベロッパー試験の合格に向けた準備ができているかどうかを自分で評価することを目的として作成されています。このガイドでは、認定試験の対象者、推奨のトレーニングおよび資料、試験の目的に関する詳細なリストなど、合格点に達するために役立つ情報を紹介します。合格の可能性を高めるために、実務経験、コースの受講、自主学習を組み合わせて行うことを強くお勧めします。

セクション 2. 対象者について: SALESFORCE 認定 PLATFORM デベロッパー

Salesforce 認定 Platform デベロッパー試験は、Lightning プラットフォームのプログラミング機能を使用した基本的なビジネスロジックおよびユーザインターフェースの開発とリリースの経験があり、その一環として後述の試験範囲に示すスキルや概念の実践的な応用をしたことのある個人を対象としています。

Salesforce 認定 Platform デベロッパーには通常、開発者として $1 \sim 2$ 年の経験と Lightning プラットフォームに関する 6 か月以上の経験があり、時間を取ってこの受験ガイドに記載されている参考資料を学習していることが求められます。

Salesforce 認定 Platform デベロッパーの受験者には、以下の経験、スキル、知識が必要です。

- Apex、Java、JavaScript、C#、Ruby など、オブジェクト指向言語に関する経験がある。
- データ駆動型アプリケーションとリレーショナルデータベースに関する経験がある。
- モデルビューコントローラ (MVC) アーキテクチャとコンポーネントベースのアーキ テクチャに関する経験がある。
- Salesforce スキーマのコアオブジェクトの機能に関する知識がある。
- 数式項目と積み上げ集計項目の機能とユースケースに関する知識がある。
- プラットフォームの関連する宣言型機能に精通し、必要に応じて活用できる。
- 宣言型方式とプログラミング方式をどのように使い分けるべきかを理解している。
- Lightning プロセスビルダーと Apex トリガのどのように使い分けるべきかを理解している。
- Lightning フレームワークの基本に精通している。
- Lightning プラットフォームの基本的なプログラミング機能を使用して、Salesforce 機能を拡張するカスタムインターフェースの開発や、カスタムビジネスロジックの 開発ができる。
- Apex、Visualforce、基本的な Lightning コンポーネントを使用して Lightning プラットフォームを拡張できる。
- 開発からテストまで開発ライフサイクルに精通し、利用できる環境に関する知識がある。

この試験の受験者には、標準の Salesforce アプリケーションの管理、モバイルアプリケーションの開発、管理製品の開発と AppExchange への公開、調整の実行、コールアウト、API、メールサービスなどのインテグレーションの設計に関する知識は問われません。

セクション 3. 試験について

Salesforce 認定 Platform デベロッパー試験の詳細は次のとおりです。

- 内容: 多肢選択/複数選択方式の 60 問
- 試験の所要時間: 105 分
- 合格点: 65%
- 受験料: 20,000 円 (税別)
- 受験方法: テストセンターにおける監督下の試験、またはオンライン環境における監督下の試験。受験方法の詳細については、こちらをクリックしてください。
- 参考資料: 試験中は、印刷物やオンライン資料は参照できません。
- 前提条件: ありません。ただし、コースへの参加を強く推奨します。

セクション 4. 推奨トレーニングと参考資料

この試験の準備として、実務経験、トレーニングコースの受講、Trailhead トレイル、この受験ガイドの「試験範囲」セクションに記載されている分野の自主学習を組み合わせて行うことをお勧めします。

この試験の推奨自主学習資料:

- トレイル 1: Study for the Platform Developer I Exam (認定 Platform デベロッパー 試験のための学習)
- Trailmix: Prepare for Your Salesforce Platform <u>Developer I Credential</u> (Salesforce 認定 Platform デベロッパー資格への準備)
- Superbadge: <u>Apex Specialist</u> (Apex スペシャリスト)

Salesforce スキルの向上には、授業形式のコースへの参加が効率的です。<u>Trailhead Academy</u> のページよりお申込み可能です。

この試験に推奨される授業形式のトレーニングは次のとおりです。

- Salesforce Platform 開発者: Apex と Visualforce [前編] (DEX 450-1)
- Salesforce Platform 開発者: Apex と Visualforce [後編] (DEX 450-2)
- 認定 Platform デベロッパー試験ポイントスタディ (CRT 450)

関連リソース

- Apex 開発者ガイド
- Lightning Web コンポーネント開発者ガイド
- Lightning Aura コンポーネント開発者ガイド
- Visualforce 開発者ガイド
- プラットフォームイベント開発者ガイド
- Salesforce Developer の制限および割り当てクイックリファレンス
- SOQL および SOSL リファレンス

オンラインのドキュメント、ヒントシート、ユーザガイドを参照するには、このガイドの「試験範囲」セクションに記載されているトピックを検索してください。ドキュメント、ヒント集、ユーザガイドも Salesforce ヘルプからアクセスできます。

セクション 5. 試験範囲

Salesforce 認定 Platform デベロッパー試験では、次の目的に関する受験者の知識とスキルを評価します。受験者には、Lightning プラットフォームでのカスタムアプリケーション開発の実務経験と、以下に示す各機能の実用的な知識が求められます。

SALESFORCE の基本

- マルチテナント開発で開発する場合の考慮事項を説明する。
- MVC アーキテクチャや Aura フレームワークなどの設計フレームワークと、宣言型ツールおよびプログラミングツールの両方を使用してアプリケーションを作成する方法を理解している。
- シナリオに基づき、宣言型カスタマイズとプログラミング型カスタマイズの一般的なユースケース を識別する。



データモデリングおよび管理

- 一連の要件に基づき、オブジェクト、項目、リレーションを含む適切なデータモデルの決定、 作成、アクセスを行う。
- さまざまなリレーション種別およびカスタム ID の機能と、それぞれがレコードアクセスおよび開発に与える影響を説明する。
- 開発環境に対してデータをインポートおよびエクスポートするときのオプションと考慮事項を説明する。
- 数式項目と積み上げ集計項目の機能とユースケースを説明する。



プロセスの自動化とロジック

- 宣言型のプロセス自動化機能を説明する。
- Apex で変数、定数、メソッドを宣言し、修飾子とインターフェースを使用する。
- シナリオに基づき、Apex のフロー制御ステートメントを使用して適用する。
- シナリオに基づき、Apex クラスを記述し、Apex インターフェースを使用する。
- シナリオに基づき、Apex で SOSL、SOQL、および DML ステートメントを記述する。
- ユースケースに基づき、ベストプラクティスに従って Apex クラスおよびトリガを記述する。
- シナリオに基づき、Apex トランザクションに対するガバナ制限の影響を識別する。
- Apex トランザクション間の関係、保存の実行順序、再帰/カスケードの可能性を説明する。
- 必要に応じて、Apex で例外処理 (カスタム例外を含む) を実装する。
- プログラミング手法を使用してセキュリティの脆弱性を防止する。
- シナリオに基づき、宣言型機能と Apex を併用してビジネスロジックを自動化する。s



■ シナリオに基づき、プラットフォームイベントの適切な公開/登録ロジックを識別する。

ユーザインターフェース

- シナリオに基づき、必要に応じて Visualforce ページと適切なコントローラまたは拡張機能を使用して Salesforce データを表示または変更する。
- Visualforce ページに取り込むことができる Web コンテンツの種別を説明する。
- Visualforce ページを Lightning プラットフォームアプリケーションに組み込む。
- Lightning コンポーネントフレームワークとその利点を説明する。
- Lightning Web コンポーネントに含めることができるコンテンツの種別を説明する。
- シナリオに基づき、ユーザインターフェースとデータアクセスのセキュリティの脆弱性を防止する。
- シナリオに基づき、Lightning コンポーネント、ビジュアルフロー、Visualforce などのカスタムユーザインターフェースコンポーネントを表示および使用する。
- Lightning コンポーネントイベントとアプリケーションのユースケースを説明する。
- ユーザインターフェース要件に基づき、Apex とさまざまな種類のページコンポーネント (Lightning コンポーネント、ビジュアルフロー、Next Best Action など) 間のやりとりを 説明する。

テスト、デバッグ、リリース

- さまざまなテストデータソースを使用するトリガ、コントローラ、フロー、プロセスのテストを記述 して実行する。
- 匿名コードを呼び出すユースケースと、匿名実行での Apex 呼び出しと単体テストの相違 点を説明する。
- Salesforce の開発者ツール (Salesforce DX、Salesforce CLI、開発者コンソールなど) とそれらを使用すべき場合を説明する
- システムの問題のデバッグ方法と、フロー、プロセス、非同期ジョブ、一括処理ジョブなどの監視方法を説明する。
- コードと関連する設定をリリースするための環境、要件、プロセスを説明する。





セクション 6. 認定資格の更新

Salesforce の資格を保有する利点の 1 つに、新製品のリリースについて常に最新の情報を入 手できることが挙げられます。リリース試験は、優秀な Salesforce 認定エキスパートである ために必要とされる最新の情報を受験者が有することを確認する目的で実施されます。

努力して手に入れた資格を失効しないようご注意ください! 資格を取得した後、期日までに すべての更新要件を満たさないと、資格を失効します。この資格を維持するには、Trailhead で提供されるモジュールを完了する必要があります。

認定資格の維持に有用なリソースをブックマークください:

- Maintenance Exam Due Dates (更新試験の期日)
- Overall Maintenance Requirements (認定資格維持の概要)

TRAILHEAD について

Trailhead は Salesforce エコノミーへのパスです。 Trailhead では、あなたの会社を変革したり、キャリアを伸ばす資格を獲得した り、一緒に学び続ける先駆者 Trailblazer のグローバルな動きに繋がるために必要なスキルを楽しく学べます。

© Copyright 2020 salesforce.com, inc. All rights reserved

